

特集

新潟医療福祉大学における 保健医療福祉専門職間連携教育の実践と将来 (2001 — 2006)

高橋 榮明

要旨

超高齢社会を迎える日本では、保健・医療・福祉において継ぎ目のない、連続した医療、福祉サービスとケアが必要である。それに対応する専門職には、良いチームワークの元で、保健・医療・福祉分野の他職種をよく理解して、自らの専門職の専門性を発揮することが期待されている。それを実現するために、新潟医療福祉大学において、開学以来、学部教育および大学院修士課程で取り組んできた「専門職間連携教育」の概要を、それぞれの担当者から執筆していただいた。これは「優れた QOL サポーターの育成」を目指す本学において、「連携教育」のカリキュラム設計から実践まで、各段階についての記録である。計画 (P)、実践 (D)、評価 (C)、修正 (A) により、このカリキュラムが更に発展し、学生の卒業後の最終的成果として、患者、対象者、高齢者などの生活の質 (Quality of Life) の向上に役立つことが強く望まれる。